

(記入例)

地域福祉

第1号様式（第6条関係）

令和3年5月7日

社会福祉法人

武蔵野市民社会福祉協議会 会長 殿

申請者 団体名 傾聴ボランティア やすらぎ会

代表者氏名 武蔵野 花子

武蔵野 印

地域福祉活動助成交付申請について

社会福祉法人武蔵野市民社会福祉協議会地域福祉活動助成規程第6条の規定により、別紙のとおり助成金を申請します。

記

1. 提出書類

- 地域福祉活動助成 交付申請書（別紙1）
- 申請事業計画書（別紙2-1）
- 令和3年度 団体の事業計画書（別紙2-2）
- 申請事業収支予算書（別紙3）
- 令和2年度 団体の事業報告書（別紙4-1）
- 令和2年度 団体の収支決算書（別紙4-2）
- 団体構成員名簿（別紙5）
- 会則・規約等
- その他 あり（ ）※A4片面2枚まで
なし

2. 申請区分

- スタート助成 定着助成 推進助成
(2) 回目

※市民社協事務局記入欄

<input type="checkbox"/> 対象となる区分と団体設立年数	<input type="checkbox"/> 区分上限額と申請額（定着・推進）
<input type="checkbox"/> 活動場所	<input type="checkbox"/> 法人格の有無
<input type="checkbox"/> 他課の申請無	<input type="checkbox"/> 団体の予算規模100万円以下
<input type="checkbox"/> 市民社協会員	

地域福祉活動助成 交付申請書

令和3年5月7日 提出

1 申請事業名	傾聴講座
2 申請金額	60,000 円 (※ただし、千円未満は切捨て)
3 申請区分 ※該当する項目に☑	<input type="checkbox"/> スタート助成 <input checked="" type="checkbox"/> 定着助成 <input type="checkbox"/> 推進助成 (2) 回目
フリガナ	ケイチョウ カイ
4 団体の名称	傾聴ボランティア やすらぎ会
フリガナ	ムサシノ ハナコ
5 代表者の氏名	武蔵野 花子
6 代表者の連絡先	〒180-0001 住所 武蔵野市吉祥寺北町1-9-1 電話番号 0422(23)0701 ファクシ番号 0422(23)1180 携帯電話 090(1234)5678 E-Mail: xxxxx@xxxxx
7 団体への連絡先 ※資料の送付先が代表者と異なる場合に記入して下さい	フリガナ ニホン タロウ 氏名 日本 太郎 〒180-0001 住所 武蔵野市吉祥寺北町1-9-1 社協ハイツ101 電話番号 0422(23)0702 ファクシ番号 0422(23)1170 携帯電話 090(4321)8765 E-Mail: zzzzz@zzzzz
8 団体の分類 ※該当する項目に☑	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者福祉 <input type="checkbox"/> 身体障がい児・者福祉 <input type="checkbox"/> 知的障がい児・者福祉 <input type="checkbox"/> 精神障がい者福祉 <input type="checkbox"/> 女性福祉関係 <input type="checkbox"/> 家族会 <input type="checkbox"/> その他 ()
9 団体の活動内容 ※令和3年4月1日を基準	(設立年月日: 平成31年4月1日) (活動年数: 2年0か月) ・施設や個人宅での傾聴ボランティア・会員の勉強会・一般向け傾聴講座開催
10 団体の構成人数	10名 (うち、過去1年以内の新規加入数 2名)
11 令和2年度 助成金(補助金)の交付実績 (※複数ある場合もすべて記入)	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 市民社協 地域福祉活動助成 金額 45,000 円 <input type="checkbox"/> 武蔵野市・その他(名称:) 金額 円
12 令和3年度 他機関の申請予定 ※該当する項目に☑	<input type="checkbox"/> クラウドファンディング活用促進事業 <input type="checkbox"/> 男女平等推進団体補助金 <input type="checkbox"/> 環境啓発事業費補助金 <input type="checkbox"/> 緑ボランティア団体事業助成 <input type="checkbox"/> 共助による子育てひろば事業補助金 <input type="checkbox"/> 地域子育て支援拠点事業運営費補助金 <input type="checkbox"/> 北町高齢者センター子育てひろば <input type="checkbox"/> 生涯学習事業費補助金 <input type="checkbox"/> 子ども文化・スポーツ・体験活動団体支援事業費補助金 <input type="checkbox"/> テンミリオンハウス事業 <input type="checkbox"/> いきいきサロン事業 <input type="checkbox"/> その他民間助成金 ()
13 市民社協の会員	<input checked="" type="checkbox"/> 団体会員 (令和3年度会費納入済) <input type="checkbox"/> 団体会員ではない
14 歳末たすけあい・地域福祉活動募金への協力	<input type="checkbox"/> 街頭募金への協力 <input checked="" type="checkbox"/> その他の協力 (例: イベントで募金箱を置くなど) ↳ (講座受付での募金箱の設置)

地域福祉活動助成 申請事業計画書

1. 申請事業の名称	※「別紙1 交付申請書」の「1 申請事業名」を記載してください	
	傾聴講座	
2. 開催日時		
	令和3年6月6日(日) 14時~16時	令和3年8月8日(日) 14時~16時
	令和3年10月10日(日) 14時~16時	令和3年12月12日(日) 14時~16時
	令和4年1月16日(日) 14時~16時	令和4年3月6日(日) 14時~16時
3. 開催場所 会場		
	武蔵野プレイス 4階 フォーラム	
4. おもな対象・参加者、参加予定人数		
	市内在住、在勤、在学の方 20名	
5. 申請事業の趣旨・目的 (どのような課題を解決するための活動か)		
	<p>市内の一人暮らし高齢者の増加により、話し相手のボランティアのニーズが高まっている“聴く”ことによるボランティア活動のノウハウを知ってもらい、ボランティア活動へ活かしてもらう。また、本団体の活動に参加してくれる方を募ることも目的とする。傾聴活動によるボランティア活動者の拡大を図り、傾聴技術を身に着けるために講座を開講したいが、受講料だけでは賅いきれないため、助成を希望する。</p>	
6. 申請事業内容 [方法・タイムスケジュール・その他]		
	<p>傾聴についての講義と、ロールプレイを中心に行う。1回あたり90分以内とし、内容については今後講師と協議を重ねる。「傾聴とは」ということに関する講義と、ロールプレイから始め、技術的なことばかりではなく、心構えについても受講者に伝えて行く。</p>	
7. 申請事業を行なうことによって得られる成果		
	<p>高齢者施設の入居者や独居の方で、話し相手がない方がたくさんいるため、ニーズも多い。個人宅と福祉施設からの依頼にこれまで以上に対応できるようになる。地域での自分の役割を見つけることで、市内ボランティアの活性化につなげることができる。</p>	

令和3年度 団体の事業計画書

団体全体の事業を記載してください

月 日	事業名	内 容
4月	総会及び定例勉強会（第4土曜日）	令和3年度の役員・事業計画決定等
5月	定例勉強会（第4土曜日）	会員の自主勉強会
6月	傾聴講座	市民対象の講座開催
7月	定例勉強会（第4土曜日）	会員の自主勉強会
8月	傾聴講座	市民対象の講座開催
9月		
10月	傾聴講座	市民対象の講座開催
11月	定例勉強会（第4土曜日）	会員の自主勉強会
12月	傾聴講座	市民対象の講座開催
1月	傾聴講座	市民対象の講座開催
2月	定例勉強会（第4土曜日）	会員の自主勉強会
3月	傾聴講座	市民対象の講座開催
備 考	<p>その他、年間を通して高齢者施設等での傾聴ボランティア活動を実施。 3施設で延べ50回（85名）、個人宅2件にて延べ8回（15名）の活動を予定。</p>	

(別紙3)

地域福祉活動助成 申請事業収支予算書

申請事業名：傾聴講座

※「別紙1 交付申請書」の「1 申請事業名」を記載してください

【収入】

項目	金額	説明 (内訳を記載)
市民社協助成金	60,000	
参加費	120,000	@1,000×20名×6回
団体負担金	90,000	
合計	270,000	

【支出】

項目	金額	説明 (内訳を記載)
講師謝礼	150,000	@25,000×6回
施設借り上げ料	56,400	武蔵野プレイス全面 @9,400×6回
消耗品費	33,600	チラシ・資料 用紙代
印刷製本費	30,000	チラシ・資料 コピー・印刷代
合計	270,000	

◆定着助成1回目は合計金額に対して助成額を90%以下にすること

◆定着助成2回目は合計金額に対して助成額を80%以下にすること

◆定着助成3回目および推進助成は合計金額に対して助成額を70%以下にすること

※収入と支出の合計金額が同額となるように記入してください

※申請事業にかかわるもののみご記入ください。団体全体の収支を記載する必要はありません

※項目は以下の分類を参考に、上の表に記入してください

収入 利用者負担 (申請事業への利用者負担) / 雑収入 (バザー売り上げ金等) / 団体負担金 (申請事業に団体の会費等から充当する金額) / その他 (具体的に記入してください)

支出 謝礼 (講師や出演者への謝礼、講師昼食代等※上限1回1人3万円まで) / 保険料 (行事保険等事業に係るもの) / 旅費・交通費 / 施設・備品の借上料 (会場使用料、その他物品レンタル料等) / 入場料 / 資料購入費 (新聞や図書・楽譜等の購入費) / 材料等購入費 (手芸材料等) / 広報費 (広報作成の紙代、印刷代等) / 研修費 / 通信運搬費 (郵便代等) / 消耗品費 (コピー代、インク代、文房具等) / 宿泊費 / 燃料費 (ガソリン代) / 事業用備品費 / その他 (具体的に記入してください)

令和2年度 団体の事業報告書

団体全体の事業を記載してください

月 日	事業名	内 容
4月	総会及び定例勉強会（第4土曜日）	令和3年度の役員・事業計画決定等
5月	定例勉強会（第4土曜日）	会員の自主勉強会
6月		
7月	定例勉強会（第4土曜日）	会員の自主勉強会
8月		
9月		
10月	傾聴講座	市民対象の講座開催
11月	定例勉強会（第4土曜日）	会員の自主勉強会
12月		
1月		
2月	定例勉強会（第4土曜日）	会員の自主勉強会
3月	傾聴講座	市民対象の講座開催
備 考	<p>その他、年間を通して高齢者施設等での傾聴ボランティア活動を実施。 3施設で延べ50回（85名）、個人宅2件にて延べ8回（15名）の活動。</p>	

令和2年度 団体の収支決算書

【収 入】

団体全体の収支を記載してください

項 目	金 額	説 明 (内訳を記載)
会費収入	25,000	@1,000×25名
講座参加費	47,000	@1,000×22名(11月)・@1,000×25名(3月)
市民社協助成金	45,000	
合 計	117,000	

【支 出】

項 目	金 額	説 明 (内訳を記載)
講師謝礼	50,000	@25,000×2回
施設借上料	18,800	@9,400×2回
消耗品費	19,652	チラシ・資料・勉強会 用紙
印刷製本費	25,140	チラシ・資料・勉強会 コピー・印刷代
次年度繰越金	3,408	
合 計	117,000	

